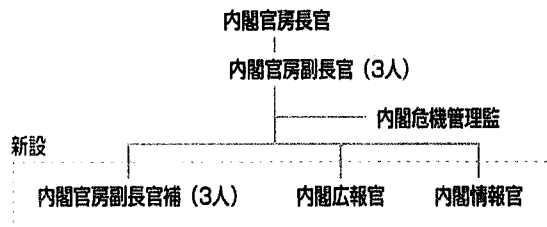


## 内閣機能を強化します

### ■内閣官房の機能を充実

内閣の重要政策などの企画立案・総合調整機能を担当し、総理のリーダーシップを支えます。



#### ●内閣総理大臣補佐官

従来の3人以内から5人以内に拡充し、総理を強力に補佐します。

#### ●内部組織

優秀なスタッフを、行政組織の内外から起用します。

2001年4月  
スタート

## 独立行政法人制度を創設します

政府が現在行っている仕事の中には、政府から独立して自律的に仕事をするほうが効果的なものもあります。そのような仕事は政府から切り離し、独立行政法人という新しい仕組みの下で仕事を進めることになりました。これによって、仕事の効率が高くなるだけでなく、国民の皆さんの声をより受け止めやすく、よりよいサービスが提供できるようになります。

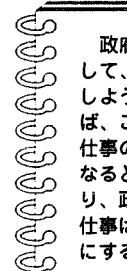


組織を政府から切り離すといっても、政府との関係をなくしてしまうことではないんだよ。政府が3~5年間でやるべき目標を決め、具体的なやり方についてはそれぞれの独立行政法人に任せることにするのさ。まず来年4月には、美術館、博物館、研究所など全部で57の独立行政法人ができることになるんだ。

## 行政をスリム化します

国が行っている事務や事業の廃止・民営化、民間委託の推進、独立行政法人化、規制緩和、地方分権、補助金などの見直しなど、国の仕事の減量を徹底します。あわせて、大胆な人員や組織のスリム化に取り組みます。

- 省庁数 (1府22省庁から1府12省庁に)
- 各省庁の官房・局の数 (128から96に)、課・室の数 (約1200から約1000に)
- 国家公務員定員数 (10年間で25%削減)
- 審議会の数 (211から90に)。特に、基本政策を審議する審議会は約1/6に)



政府本体をできるだけ小さくして、ムダな部分がないようにしようとしているんだね。例えば、これまで政府が行っていた仕事の中で、今後は必要がなくなると思われる仕事をなくしたり、政府以外のところで行える仕事はほかの組織に任せるようにするんだ。



内閣官房と内閣府は、その他の省庁のまとめ役をしながら、総理大臣が国全体のものごとを決めるのに必要な助けをするんだ。今回の省庁改革では、総理大臣のリーダーシップを高めることが一つの大きな目標だから、内閣府をつくることもその一つの方法なわけだね。



組織を政府から切り離すといっても、政府との関係をなくしてしまうことではないんだよ。政府が3~5年間でやるべき目標を決め、具体的なやり方についてはそれぞれの独立行政法人に任せることにするのさ。まず来年4月には、美術館、博物館、研究所など全部で57の独立行政法人ができることになるんだ。

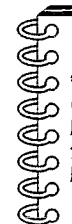
# 21世紀

# 政府が生まれ変わります

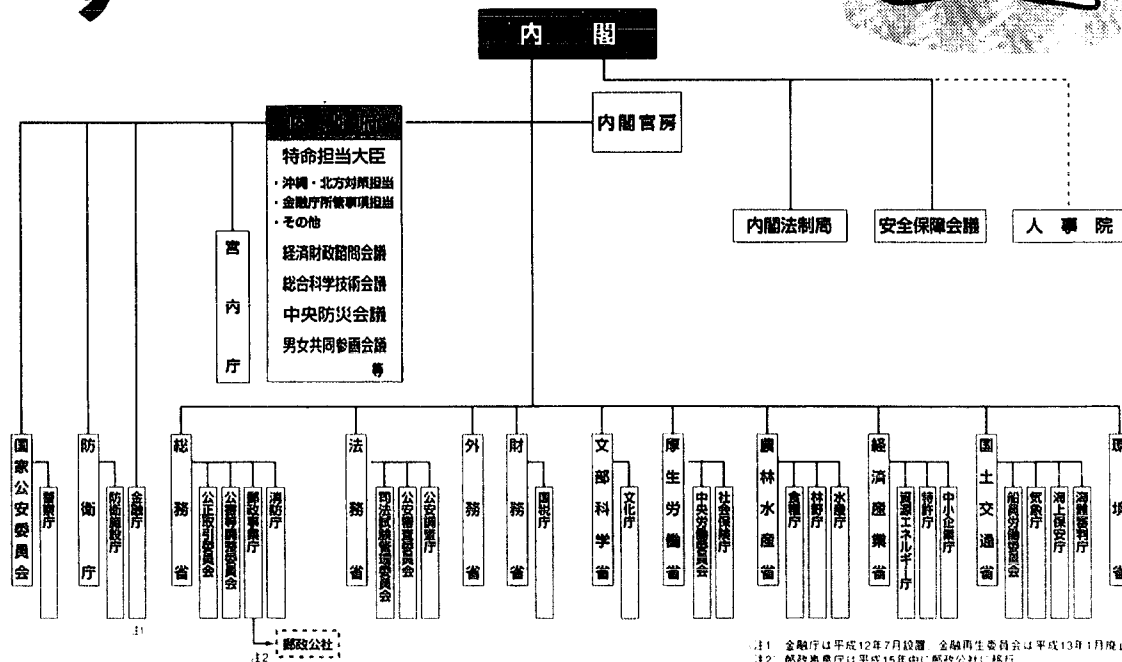
2001年1月6日、政府が新しい体制に生まれ変わります。これは21世紀を迎え、日本という国が今後どうあるべきかを考えて、求められる仕組みに編成し直す大改革です。国民の声を反映した開かれた行政を目指します。

## 中央省庁を再編成します

- ・複雑な政策課題に的確に対応できるよう、1府22省庁から1府12省庁に大きくくり再編成します。
- ・内閣官房や新設される「内閣府」が、各省よりも一段高い立場から政府内の政策の総合調整を行うことなどにより、いわゆる「縦割りの行政」の弊害を排除します。
- ・各府省の大臣の下に副大臣や大臣政務官を設置して、政治主導の政策決定を行いやすくします。



この再編成は、今まであった省や庁がくっついて大きな省庁になるわけではないんだよ。政府のやるべき仕事をどのように分担したらいいかを考えて、1府12省庁がまったく新しくできるんだ。



注1 金融庁は平成12年7月設置 金融再生委員会は平成13年1月廃止  
注2 郵政事業庁は平成15年中に郵政公社に移行